

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日 平成 28 年 3 月 23 日

Table with 3 main columns: 事務事業名 (Project Name), 事業区分 (Project Category), and 担当 (Responsible Party). It details the project '議長交際費事務' (Mayor's Liaison Fee Business) under the '議会関係' (Council-related) category.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table for (1) 事務事業の概要 (Overview of Business Activities). It is divided into two parts: ① 事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table for (2) showing various indicators and their trends. It includes sections for ① 手段 (Means), ② 対象 (Targets), and ③ 意図 (Intentions), with data for 26th, 27th, 28th, 29th, and 30th years.

Table for (3) 投入量 (事業費) の推移 (Trends in Input/Project Costs). It shows a breakdown of costs by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel costs (personnel, time, etc.) for 26th, 27th, 28th, 29th, and 30th years.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of Project Costs) comparing 27th year actuals (実績) and 28th year budget (予算) for categories like '10 交際費' (Liaison Fees).

Table for (4) 当該年度の実施内容 (Implementation Content for this year), detailing the 28th, 29th, and 30th years of the project. It includes a note about recording content and a list of key activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	議長交際費事務	事務事業No.	99909000311	所属課	市議会事務局
-------	---------	---------	-------------	-----	--------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併以前から2町1村で実施。合併後も引き続き、市議会と各種団体との円滑な関係を構築するために実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	各種団体等と円滑な関係を構築することにより、議会活動に対して理解が得られることは、市が行っていく政策に結び付いてくる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	各種団体等円滑な関係を構築することにより、議会活動に対して理解が得られるので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	議長への出席依頼は、毎年度流動的であるため向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	各種団体等と円滑な関係が保てず、議会活動に対しての理解が得られなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	議会の代表としての事業であり統廃合、連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	社会通念上必要と思われる最小限の支出である。また、交際費支出基準により適正に処理されている。また、業務時間においては、必要最低限の人数で効率的に行っているため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	支出基準に基づき、公正・公平に行っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市議会議長交際費の支出基準に基づき、内容を精査し支出している。また、支出状況を管理し、翌月の末日までに市のホームページで公表することによって、公正で透明な議会運営に結びついている。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 - コスト削減優先度評価結果 -																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認